

スマホを使って音楽作りに挑戦してみよう（体験版）

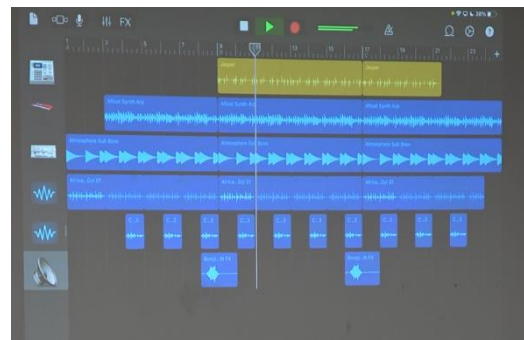
開催日：2023 年 8 月 2 日 @ 浜北文化センター、天竜壬生ホール

スマホやタブレットを使って曲を作るワークショップを開催しました。iOS アプリ GarageBand（ガレージバンド）の Apple Loops にあらかじめ登録されているフレーズやリフを組み合わせて曲を作るワークショップです。楽器経験のない人でも作曲に挑戦できました。

講師のジョン先生は、作曲家として、石原貴洋映画監督の音楽を数多く手掛け、『レッドリスト』『大阪少女』『大阪闇金』などの作品に音楽を提供しています。

このワークショップは、参加者の皆さんの自己紹介から始まりました。お互いに楽器経験や好きな音楽など共有し、時々笑い声も聞こえてきて、和やかな雰囲気スタートでした。

最初に音楽は、3 要素（メロディ、ハーモニー、リズム）からできていることを学びました。GarageBand の使い方は、曲を作りながら学びました。Apple Loops にはあらかじめ録音された音が入っており、その中からいくつかの音を組み合わせて曲を作っていました。



曲を作るには音を選ぶ順番があるそうで、リズム（ドラム）→コード→ベース→メロディ→オブリガートの順番で音を選んでいきました。メロディは曲の主人公で一番目立つ音になり、オブリガートはメロディを引き立てるように厚みを作っていくそうです。こうしてできたのが 8 小節のサビとなりました。

8 小節のサビを 3 回繰り返すことで、24 小節の曲ができ、最初の 8 小節をイントロ、終わりの 8 小節をアウトロにします。イントロとアウトロは、サビから音を削って作りました。

Apple Loops に入っている音は、音の高さや速さも変えられますし、使いたい部分だけ切り取って加えることもできます。さらに、効果音を加えることで、曲

の盛り上がりを作っていました。

参加者の皆さんは、曲の中で一番盛り上がる部分がサビとなるように、音のつながりを試行錯誤しながら、曲を作っていました。

参加者の皆さんは、短い時間で 1 曲を作り上げて、最後はお互いに発表し、ジョン先生からコメントをいただきました。

GarageBand には選ぶことができる音がたくさんありますので、今後も楽しみながら曲を作っていけるといいですね。

なお、GarageBand は、ゼロから音符を配置することもできます。別のワークショップでは、参加者は歌詞や曲も含めた歌を作ることに挑戦します。



浜北文化センターでのワークショップの様子



天竜壬生ホールでのワークショップの様子

